

KSKP



とくていひえいりかつどうほうじん

特定非営利活動法人 リアライズ

リアルライフNEWS

ぼりゆーむす
vol.9

1984年8月20日第三種郵便承認
毎日発行

ねんど はじ
2010年度が始まりました。

こんねんど あら めい じょうきん むか
今年度は新たに3名の常勤ヘルパーを迎えました。

あら たいせい ぜんしん
新たな体制でリアライズは前進します！

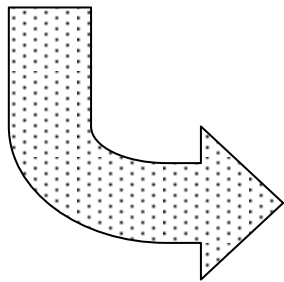
おうえん おね
みなさん応援よろしくお願ひします！



そつぎょうせい おく かい
リアライズ卒業生を送る会にて (2010年3月26日)

リアルライフ新メンバー紹介!

4月から、新たに3人のスタッフが増えました!
新社会人なりたてホヤホヤの3人を迎え、新体制で2010年度に臨みます。
新たな気持ちで一丸となって頑張りますのでよろしくお願い致します!



と、ということで、前号の表紙の答えは・・・新スタッフの面接後の1枚でした!



星野貴大 (ほしの たかひろ)

自立生活センター・リアルライフ 常勤ヘルパー

僕がリアルライフに入った理由は代表の三井さんが学校に講義しに来てくれたことがきっかけでした。その当初は障害について全く知らなくて、自分の地元の泉大津に障害者が、地域にいること自体、三井さんの話の中で初めて知った。講義が終わり、三井さんから話しかけてくれて、「君、よお話を聞いてくれたなあ、今日リアルライフおいでや」「えっ、あっ・・・はい」それが初めて三井さんと話した会話だった。半ば強引にリアルライフに連れ込まれ、重度訪問介護従事者の資格を取りに行き、最終的にリアルライフのヘルパーとして入ることになりました。今思えば、リアルライフでヘルパーをやっていて「シャイ」な部分が徐々になくなり、自分自身のレベルが上がったなと感じています。これからも自分自身のレベルアップの他に介助者としてのレベルを上げていきたいです。



森田美穂 (もりた みほ)

自立生活センター・リアライズ 常勤ヘルパー

“フーテンの寅さん”マスクをしていた森田美穂です。。4月から常勤ヘルパーとしてリアライズで働かせてもらいます。4月からリアライズの皆さんと働けることを嬉しく思っています。

では、ちょこっただけ自己紹介させていただきます。京都のド田舎から、桃大にやってきたのはちょうど5年前のことです。趣味、バレーボール。特技、妄想です。大学時代の思い出はインドネシア一色です。インドネシアが今一番大好物です。3月にもインドネシアに一人旅に行ってきました。好きな食べ物は“肉”です。“森田美穂＝肉食系寅さん”と覚えていただければ光栄です。座右の銘は「継続は力なり」。初心を忘れず、感謝の気持ちを忘れず、出会いを大切に精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願ひします!!



吉井ひかり (よしい ひかり)

自立生活センター・リアライズ 常勤ヘルパー

初めまして! 4月よりリアライズで常勤ヘルパーをさせて頂くことになりました吉井ひかりと申します。桃山学院大学を卒業したばかりの22歳です♪みんなからはひーちゃんと呼ばれています☆特技(?)は水泳。リアライズでは1年

程学生ヘルパーをしていましたが、三井さんを含めたくさんの方々と出会うことができ、その出会いをもっと広げていきたいと思い、リアライズに就職することを決めました。

リアライズの仲間と共に、誰もが自分らしく暮らせるようお手伝いできればと思っております。まだまだ経験は少ないですが、いろいろなことを学びながらリアライズと共に成長していきたいです(;_;)

どうぞよろしくお願ひいたします。

総勢9名になったリアライズスタッフの今後の活動にご期待ください!

どんどん増えてきたリアライズヘルパー、^{いっしょしょうかい}一挙紹介！ リアライズヘルパー^{しょうかい}紹介！！！！



ただいまインドネシアで
^{しゅぎょうちゆう}修行中！！ 赤松 蘭



リアライズ 3年目も
よろしくお願ひします。

ノブユキ 川端 延昌



リアライズ 最年長の鷹野
です。今後ともよろしく
お願ひします。v(^-^)^
鷹野 洋



去年の8月から登録ヘルパーとして働いてい
ます。現在は今年の3月に大学を卒業して就
職して仕事をしています。月に1回ほどリア
ライズで働かせていただくことになりました
！よろしくお願ひします☆ 大植麻衣



平成21年8月より登録ヘルパーとして
活動させて頂いています、現在22歳の
フリーターです。ちなみに、出身校は
常盤会短期大学です。
今年度も目標変わらずフリーターですが、
私らしくマイペースに頑張っていきたいと思ひます♪
よろしくお願ひします！



リアライズを通して
たくさんの人と出会ひ
たくさんを経験を
していきたいと思います！！
☆大久保 知香☆



北山におる、まほしがニギ
リアライズは、イイばっかりで
めっちゃ楽しいです！！
ニギも付けて良かったです☆
ニギからヘルパー続けまふ
でほでは。
まほ
○(笑)○



早くヘルパーの仕事を感じて楽しく
介助をしていきたいと思います。
鬼村 行正(ちんち)



リアライズのギャル男こと
柴田一平です！！
見た目はチャップリンですが、
根はマゾメです(笑)
今年を頑張りますのでよろしくお願ひします！！



リアライズもついに3年目いよいよ
僕もヘルパーとして3年目いよいよ
スタッフの方にも大変お世話して頂
け、お世話いただきありがとうございます。
その恩を返す。還元できるくらい介助者
になりたいと思ひます！日々精進ありか！！
川口和洋(わか)



いっ何びき誰の
挑戦でも受けます！！
関尾智則



今年からリアライズで活動を始める伊達翔平です。
「翔平」と呼んで下さい！
日数は少ないですが、1つ1つに気持ちを込めて活動をして行きたいと思っています。
よろしくお願いします！ 伊達翔平



こんにちは～♪ 学生ヘルパーの稲
穂一敬です。リアライズに入って、はや
3年目になります。今年度は初心を
忘れず緊張感を持って介助に望
みたいと思います。
あと今年こそは単位をちゃんと取って
卒業出来るように頑張ります。笑
まあ、皆さんもし僕を見かけたら気軽に声をかけて下さい。
よろしくお願いします☆



1人でも多くの人と関わりを持ち、
色々な考え方を知りたいです。
そしてその意見などを無駄にしない
で、たくさん経験を積み、失敗を恐れ
ず楽しくやっていきたいです。
西井沙樹



リアライズでヘルパーを半年
やっています。先輩方に愛され
ながら頑張っています。よろしく
お願いします。
古久保 優太



去年の7月からリアライズでお仕事
し始めて、早10ヶ月が経ちました。
とても楽しく、沢山のひとと出逢い
沢山の良い経験させてもらい
ました。4月からも人との出逢いを大切に、
日々精進していこうと思っております。よろしくお願ひし封!!
辻 絵美



4月からリアライズで働かせて
もらう森文彰です！
一生懸命頑張ります!!!



育は小さいけど、元気だけは
あるので、宜しくお願いします！
中西久理子



天啓が一番
矢野 梓



こんにちは。
4月からリアライズでヘルパーを
させていただく中原 琢斗といます。
ヘルパーとして利用者さんに満足して
いただけるよう頑張ります。



リアライズのムードメーカーの
山田 晶洋(ダンディー)です。
登録してから、1年くらいい
たちました。これからも頑張りますよ～。
仕事は魂込めてやっています。



今年で「リアライズ」に於いて1年が過ぎ
ました。
徐々に自信ついてきていると思はす。
毎日歩み、少しずつでも前進に
いきたいです。
新里 翔平(シンパー)



利用者からも、
周りの人から見ても
(良)ヘルパーに
なれるようがんばります。米原

まだまだリアライズヘルパー増加中!! 人数増えてにぎやかに楽しくやっています!!
興味のある方はいつでもリアライズへ! みなさん応援よろしくお願いします!!

まんいんおんれい
満員御礼!!

第1回NPO法人リアライズ杯

障害者市民ボウリング大会

2010年2月21日(日)に「第1回NPO法人リアライズ杯 障害者市民ボウリング大会」を開催いたしました！リアライズ初となる地域に向けたビックイベントに大勢のみなさんに参加していただきました！今回はその模様をたっぷりお送りしたいと思います！

リアライズ杯のはじまりはじまり〜♪

ボウリング大会当日、午後1時から受付開始。開始直後から続々とみなさんやってこられました。

地元泉州地域の人や、遠くはるばる三重（！）やフィリピン（！！）などいろんな地域からラウンドワン堺駅前店に集まってきてくれました。27名のゲーム参加者、それぞれの介助者さんやリアライズのスタッフやボランティアなどなど、総勢60名を超える人たちで会場は開始直後から熱気むんむんでした！

受付を済ませると、ボランティアの誘導でそれぞれのレーンに移動してもらいました。知らない人同士で若干の緊張感が漂う中、開始時間を待ちました。

司会登場！

みなさんがそろったところでいよいよ司会が登場！司会としてリアライズヘルパーひーちゃん

(吉井ひかり)がマイクを握り現れました。司会が一人で心細そう。

そこへ、リアライズのお祭り男ヒロシ(山本啓司)がさっそうと登場！しかもボウリングのピンの姿で！そしてBGMは「ポっポポポポボーっボー♪」と鼠先輩の『六本木〜GIROPPON〜』！ちょっと古いか？！ひろしのさむーいギャグにひーちゃんの突っ込みが冴えておりました。



司会のあいさつの後は、リアライズ代表のみっちー(三井孝夫)より挨拶がありました。

「こんなにたくさんの人に来てもらえてうれしいです、今日はみんなで楽しみましょう！」この時のみっちーの話にもあったように、実はスタッフ一同、当日迎えるまで不安がいっぱいでした。

(その理由は後ほどの番外編をお読みください！)

しょうがいしゃ 障害者がボウリング?

どうやって投球するの??

さてさて今回の大会、タイトル通り障害者がたくさん参加するボウリング大会なのですが、「障害がある人ってどうやってボール投げるの?」と疑問を持たれた方もいるかもしれません。

自分でボールを持って投げられない人がボウリングをする場合、「シューター」というボールを投げるための滑り台のような台を使って投球します。シューターの方向や押し出す力を加減して、ピンを狙います!

え? 「それって投げるより簡単なんじゃないの?」ですって? いえいえ、これがなかなか難しいんです。ほんのちょっとの方向のずれで明暗を分けるなかなかシビアなものなんです。

これに、介助者にボールをセットしてもらいシューターの方向を自分で調整する人もいれば、ボールのセットから方向の調整まですべて介助者への指示だけでやる人、いろんな方法で戦います!

今回はシューターを兵庫県神戸六甲ボウルさんから8台もお借りしました。神戸六甲ボウルさん、ご協力ありがとうございました!



シューター台の上部にボールを置いて、狙いを定めて・・・えいっっ!!

ルール説明

大会というからには点数を競うわけですが、ボールを触るのも初めてというボウリング初心者からボウリング大好きでいつもやっているとというベテランまでいろんな方が参加されていたので、このままでは慣れている人のほうが有利! これではいけないということで、リアライズ杯では以下の特別ルール2点を適用してみんなが勝利のチャンスがあるルールで行いました。

リアライズ杯 特別ルール

1. ハンデキャップ制を導入

「ハンデがほしい!」という方にはハンデとして30点を上乘せする。

2. ノーガーターの使用

「まっすぐ転がすのは苦手だ!」という方にはノーガーターという、ガーターにならないようにするための柵を使用することができる。

これで準備は整いました。

さあ、試合開始!・・・と、その前に!

試合前に練習タイム!

まだ一回もボウリングをやったことがない人も多いので、まずは肩慣らし、30分ほど練習タイムが取られました。さすがにこの後に試合が控えているとあって、みなさん真剣な面持ちで練習していました。

いざ、試合開始!!

「それではゲームを開始します!」司会のヒロシの合図とともに、一斉に投球開始!

投球は1フレームごとに合図してから開始します。
全員が1フレーム終了すると、掛け声とともに次の
フレームに移ります。

続々と軽快なピンが倒れる音とともに「うおー！」
「やったー！」と歓声が上がりました。



投球が終わった人には
レポーターのつばさ(長瀬
翼)が各レーンでインタビ
ュー。自己紹介と今日の意

気込みなどなど語ってもらいました。ストライクを取
った人の興奮冷めやらぬアツいコメントや、次の
投球への意気込みなどたくさん聞くことができました。

フレームが進むにつれてみなさんどんどんヒート
アップ!!そこに、今回の会場であるラウンドワン
恒例のストライクイベントが始まりました!青いラ
イトで雰囲気は一変、運よく良く投球の順番の人は
ここぞとばかりにストライクを狙いにいきました。
残念ながらその時はストライクはでませんでした、
ドキドキする瞬間でした。

参加者みなさんの感想コーナー

- とても楽しかったです。車イスでも十分楽しく参加出来ました。
- すごく楽しかったです。これからも参加出来たらしようと思いました。
- 本気を出すとストライクを出したりスペアとれる所が楽しかったです。
- 今後も車イスの人も参加できるイベントをやってほしい。
- とても楽しかったです。同じレーンの人と話せたので良かったです。
- 来てよかった。健常者だと緊張するけど今日はリラックスして投げれた。

ご感想ありがとうございました!!



などなど、たくさんの感想を頂きました!

そして皆さん楽しんでもらったようでさらにうれしい1日でした。
参加してくれた皆さん、そして協力してくれた皆さん、ありがとうございました!

結果発表 & 賞品授与!!

その後も投球はどんどん行われ、10フレームまで
あっという間に終わってしまいました。みなさんまだ
物足りないようですが、さあ、結果発表に移ります!

ゲームが終了して、さあ上位入賞者の発表で
す!ボウリング場の結果表が結果発表を行うと一
ます(西野譲)のところに届きました。5位以上の上位
入賞者にはなんと豪華(?)賞品が贈られまし
た!!なかなかの接戦で、2位と3位はまさかの



同点!しかし賞品
はそれぞれ1つずつ
しかないのでじゃん
けん対決!無事順位
も決着し、上位

入賞者の笑顔とともに賞品授与式は終了しまし
た。

最後にリアライズの暴れん坊、川本将勝から締め
あいさつ、この日のリアライズ杯は終了となり
ました。

ほんがいへん
番外編

たいかいぶたいうら
ボウリング大会舞台裏

ほしゅうきかん
ハラハラドキドキの募集期間!!

こんなに盛り上がったボウリング大会ですが、企画段階ではかなりハラハラドキドキしていました。この企画をする以前に、「地域の障害者とつながるために企画をしよう!」ということで自立生活プログラム (ILP) を企画しました。泉州地域で自立生活センターのILPはまだまだやっているとこがないので、これならきっと地域の障害者とたくさん出会えるぞ!と意気込んで、チラシ作って配りました。

ところが・・・これがなんと応募ゼロ (-o-;ガーン

しかーし、そんなことでへこたれるリアライズではありません。

「じゃあ、もっと遊びメインで気軽に来れる企画

ならみんな来るんちゃう??」

「おっし!じゃあボウリング大会とかどうよ?!」

ってことで生まれたのが今回の大会なのです!



あいえるびー
ILPのチラシ、結構気合入って
いたのですが・・・無念

「また応募ゼロやったらどうしよう・・・」

「いや、そんなことはないやろ!」

「いや、でもやっぱり・・・」

そんな不安な日々を過ごしました。

そしたら、なんと!!

ほしゅうていいんじょう
募集定員以上のみなさんから参加

もうこ
申し込みを頂きました!

きてくれた皆さん、

ほんとう
本当にありがとうございました!



たの
楽しい企画するので、

みなさんもぜひ

ご参加ください!!

ポジティブ・キャンペーンにいらっしやい！！



～2010・3/6 (土) @ヒューマインド～

こんにちは！今回、リアルライフで2010年ポジティブ・キャンペーンの記事を書かせていただくことになった岡田です。このイベントは、大阪府内の作業所や自立生活センターが集まって、福祉職や介助職を自指す人たちにその魅力を伝えたり詳しいお話をしながら、いろいろな活動を通してみんなで楽しむものなのですが、初参加の僕がまず感じたのは何と云っても人の多さ！本当に大勢の当事者の方やスタッフさんが所せましと体育館・フロア一面を囲んで、あちらこちらで各事業所の宣伝や飲食物販売、音楽ライブにトークショーにと取り組む姿はとても活気がありました。今回は、そんなポジティブ・キャンペーンのさまざまなイベントを、僕自身の(半人前の(?))取材をもとにひとつひとつ紹介していきたいと思っております。

こんにちは！岡田です！
メモを片手にがむしゃら取材！！



事業所ブースコーナー

～事業所達の個性光る！？～

11:00～14:00

まず、メインの体育館で最も大人数でおこなわれていたコーナーが、事業所ブースコーナーでした。このコーナーは各事業所がブースを設け、それぞれオリジナリティあふれるポスターやチラシなどを使いながら、訪れる人に事業所の紹介や事業所内での仕事の説明をするというのですが、各事業所皆さんおそろいのオリジナルTシャツを着たり、色とりどりのポスターや掲示を張ったりして、にぎやかなのがとても印象的でした。



リアルライフでもまた、泉大津や泉州地域のこと、

さらに、事業所内での普段の活動を紹介する写真やイラストなどを掲示しました。このポスターは、何日もかけてインターネットやアルバムを駆使して地元出身の有名人や名所・イベントの写真を集めたりと、全部みんなで手作りで作ったものだったのでとても思い入れが深く、体育館に展示された瞬間すごく立派に映りました(特に、リアルライフのポスターはカラフルで見やすかったのも、他と比べてもきわだってたと思います！)。

残念ながら、当日は雨天という天気の影響もあって、リアルライフのブースには外部からのお客さんはほとんど来なかったのですが(しかも、僕自身も他のコーナーに回るのに必死で、ほとんどリアルライフのブースにはいられなかったのですが・汗)、おそろいのTシャツで3時間みっちり頑張られたスタッフの

皆さんにはとても熱いバイタリティが感じられて、本当にすごいと思いました。またリアライズ以外のブースもとても活発で、僕が取材として「センターのアピールポイントはどこですか？」などを聞くと、(皆さん、突然聞かれて少し「？」という感じでしたが・笑) 熱い思いや理念を語ってくれていました！

じんけん こうざ
人権講座

とうじしゃ なま たいけん き かた あ
～当事者の生の体験を聞き、語り合う～

10:30~12:30

開始まもなく2階・第1研修室ではじまったコーナーが、この人権講座でした。この講座は障害当事者の人がみずからの半生を語り、その後グループでその話に関連して感想や思っていることを発表するというものですが、今回は、今回は、大阪市住之江区にある自立生活夢宙センターを設立された平下耕三さんが講師でした。



平下さんは、本当に波瀾万丈のご自身の半生をくわしく話して下さり、生まれる前から両親間で生むべきか否かの論争があったこと、その後一般の学校で「頑張る障害者」(健全に近づこうとする障害者)になろうとしたこと、でもその一方で、さらにその後の施設入所でのCP(脳性マヒ)当事者とのふれあいを通して障害者観が変わったことなど、生き活きた体験が本当に印象的に胸にひびいてきて、同じ当事者としてとても考えさせられるものがありました。また一般企業での就労と自立生活センター(CIL)での就労についてのお話もとても印象的

で、一般企業では、専門学校を卒業しても障害があるということ、就職差別を受けたり、ようやく就職しても疲れなどで続けるのが困難なこともあった、というような体験は、まさにこれから何らかの社会貢献を目指そうとしている立場としては、本当に身につまされる思いでした。最後の、センターを立ち上げるにあたっての「居場所」(「自分はこれでいいんだ」という気持ちと、それを支える周りの仲間)の重要性というお話については、特に深く考えさせられるものがありました。

平下さんのお話が終わってからは、参加者全員でグループセッションを行い、お話を聞いての感想や自分自身の思いなどを個々に話し合いました。僕のグループも、皆さんそれぞれ自立生活センターの職員や福祉関係の方々と、個々の体験や思いが熱く語られました。そして僕自身もまた一当事者として、自立のキーワードである「自己選択」・「自己決定」に関連づけて、これまで家族や周りの十分すぎる(?)支えの中で、「選択」や「決定」をどこかで人まかせにしていた自分自身の「甘え」について、そしてこれからの自立への希望について熱く語りました。内気な僕が正直に感じたのは、「こういうふうに分かることを一生懸命に伝えられるということも、自立に向けては大切なことなのかなあ」ということでした。

とうじしゃけんしゅう
当事者研修

とうじしゃ まじ あつ ぎろん と か
～当事者を交え熱い議論が飛び交う～

13:00~14:30

午後になって、まず最初の一大イベントは「当事者研修」でした。この研修は、参加者が障害当事者も交えた各班にそれぞれ分かれ、介助の現場における



問題点や困難点・対策
などについて徹底
討論するという熱い
企画でした！

議題としては、「当事者の家庭内におけるヘルパーのしかるべきスタンス」という、かなり議論の分かれるトピックで、それぞれの視点からさまざまな意見が交わされました。そして最後には、自立生活センター・あるの理事長である東谷さんが、「利用者の意向を重視した上で、他の家族との関係もまたうまく作っていくことが重要だ」というまとめをされて、本当に白熱した議論になりました。ヘルパーさんをまだ日常的に使ったことのない立場としては、「きっと将来には、こういうことを考えるようになるんやろうなあ・・・」と、興味深く議論に参加することができました。



ポジティブ文化祭

～熱唱！熱唱！オンステージ！～

15:30～17:00

事業所ブースが終わった後、メインの体育館で満を持して幕を開けたのが「ポジティブ文化祭」でした。当事者・健常者のコラボで結成された熱い思いのそれぞれのバンド達が、ステージ上で熱唱・熱演を繰り広げたこのイベントは、まさにこの日を締め



くくるにふさわしいイベントの一つでした！

パフォーマンスは、おなじみのスタンダードナンバーのコピーから、本当に手作り感満載の詞・曲ともにゆる～いオリジナル（笑）に至るまで個性があふれていて、聞いていてあきませんでした。みなさん本当に「この日のために頑張ってきた」という感じが伝わってきて胸が熱くなったし、個人的には、車イスユーザーの人と健常の人のセッションは久しぶりに見たので、とても新鮮な印象がありました！

そして、個人的に一番注目していたのは、我々がリアライズ・西野さんと夢宙・陶山さん達がタッグを組む「さんぼーる」の演奏でした！・・・さて、普段は寡黙に事務をこなす西野さんがひとたびベースを手にする



と、どんな変身がおこるのか（笑）・・・その結果は・・・なんと、熱唱・熱唱・そして目にもとまらぬベースさばき！（笑）普段のおだやかなキャラからは想像もつかないほど、ノリノリにロックしている西野さんがそこにはいました！アンプから流れる爆音に乗って、華麗に舞う西野さんにもすごいギャップを見せられ、鳥肌が立ちました！そして演奏のみならず、客席からの熱いコールもそつなくあしらう（？）皆さんのプロフェッショナル感も、どこことなくカッコよかったです（笑）



（でも個人的には、全身を振るわせながらブルーハーツを大熱唱する平下さんも、かなりファンにな

りました・笑)

介助のから騒ぎ ～人気バラエティーと 福祉が夢のコラボ！？～

17:00～18:30

文化祭が終わると、ステージ上ではいよいよ大
りのトーク企画「介助のから騒ぎ」が始まりました！
この企画は、人気バラエティー「ダウンタウンDX」
と「恋のから騒ぎ」をミックスさせる形で、司会者と
ともに、介助をしている人や当事者の人たちから色々
な介助にまつわるぶっちゃけ話を聞いてみようとい
うものでした。

トークは終始アットホームな雰囲気が進み、某大物



芸人バリの司会を筆頭に、オチャメな当事者さんや
元気いっぱいの子供さん達がどんどん盛り上げる感
じで、漫才みたいな神出鬼没感が満載でした(笑)。
また、ステージと客席は離れてはいるのですが、客席
も一体になって笑い合ったりコメントしたりしてい
る雰囲気がとても温かく感じられました。

それにしても、介助を利用する側の想いもあればす
る側の想いもあるもので、話の内容で一番興味深か
ったのは、介助をする側も介助をとおして「いろん
な所に行けた!」、「パワーアップできた!」と、いろ
いろためになっていることがとても多いということ
でした。たとえば「前は虫が苦手だったけど、介助を
始めてマシになった」とか、「介助を始めて料理がで
きるようになった」とか・・・これは受ける側の視点か
らはなかなか気づきにくいことなのでとても面白
く感じましたし、これから介助を受けるにあたっても大
きなはげみにできるような気がして、どことなく
心強く感じることができました!

全体を通しての感想...

初参加のポジティブ・キャンペーンは、こんな感じでまさに新しい発見・出会いの宝庫でした！特
に、普段はあまり交流がない事業所の人とふれあえたり介助する側からの本音が聞けたのは、
今後、本格的な自立を目指す僕にとって本当に大きな支えになってくれるだろうと思います
障害をもちながらの生活は、自分ひとりで思いつめていると難しいように思えますが、多くの人
の生活やお話を聞くことでその負担は和らいでいくのかなとも思います。こんな素敵なふれあいの
場であるポジティブ・キャンペーンに、皆さんもぜひいらっしやい!!

自立生活センター・リアライズ

2009年度ヘルパー研修会報告

リアライズでは、2か月に1回、ヘルパーのスキルアップのためヘルパー研修会を行っています。担当するスタッフが毎回趣向を凝らした内容のものを考えて実施しています。リアルライフNEWS Vol. 8では第4回と第5回の研修についてお伝えしました。今回は第6回の模様をお送りします。

リアライズらしい楽しくそして内容の濃いアツい研修の様子をご覧ください！

第6回目 テーマ：「障害当事者が求める介助とは？」

日時：2010年2月7日（日曜日）

場所：リアライズ事務所

参加者：20名（うち、スタッフ6名）

内容：I. 「当事者が求める介助とは？」（DVD鑑賞）

（インタビュー協力）

自立生活センター・ナビ 代表 川嶋 雅恵氏（脳性マヒ）

自立生活センター・あるる 管理者 太田 康弘氏（頸髄損傷）

自立生活夢宙センター 事務局長 陶山 雄一氏（脊髄損傷・左頸髄引き抜き損傷）

富田（内田）都子氏（脳性マヒ） 富田 譲治氏（夫・健常者）

II. 「個別テーマ検討」

・当事者の恋愛とそこでの介助

III. 「もし、自分が重度障害者になったら？」（課題）

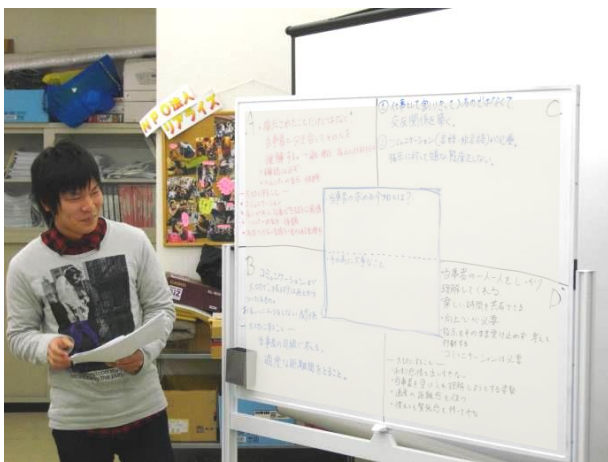
I. 「当事者が求める介助とは？」

第4回の研修では、当事者の背景を知ること、介助者としてどうあるべきかを考え、第5回の研修では当事者の求める介助を知るために必要な、コミュニケーションの取り方の研修を行いました。今回の研修では、4名の障害当事者のインタビューを通し、実際、当事者がどういった介助者を求めているのかを考える機会としました。インタビューはコーディネ

（長瀬&宮元）が自宅、もしくは職場に訪問し、自立の経緯や、介助者との関わり方について伺いました。研修では、まず4グループに分かれ、インタビューを通して感じた「当事者の求める介助とは？」「その為に介助者として大事にしていきたいこと」を各グループで話し合ってもらい、発表、ディスカッションを行いました。以前の研修も踏まえ、ヘルパーからは、



「当事者のことをしろうと努力するヘルパーを当事者は求めている。」「そのためにはコミュニケーションが大事」「当事者が求めるのは一緒に楽しめる介助者が求められている。」「当事者の手足のように黙々と介助する介助者になる必要がある。」などいろいろな意見が出ていました。インタビューでは、4名それぞれ求める介助者が違っていたこともあり、ヘルパー達は少し混乱したようです。ディスカッションの結果、人それぞれ生活スタイルや、環境、価値観も違う中で、当然その人が望む生活、その人らしさは違い、つまり、その生活を実現させるために必要な介助者の在り方もまた変わってくる、当事者の求める介助とは人それぞれ違うのだという結論に至りました。そして、それぞれ違うその人のニーズに沿えるよう、その人のことを知るには、コミュニケーションは必要不可欠であり、話を聴くことが必要になって来るのだと確認しました。



Ⅱ. 「当事者の恋愛とそこでの介助」

個別テーマ検討として、今回インタビューの中で皆さんから「恋愛」のお話を聞くことができました。

パートナーとの空間の中に介助者が入るといことはどういう感じなのか？また、逆に介助者から、そういった場面の介助はとても難しいといった声もあり、このテーマで考えてみることにしました。ヘルパーからは、「その空気感の中でどうしたらいいのかわからない」「ケンカの際立ち去った方がいいのか迷う」等々なるほど難しいようでした。インタビューを通して感じたことは、パートナーと一緒にいる時間では、1対1での介助の場面よりも、介助者がどう振る舞うかよって、関係性に影響を与えることがあるということでした。そこで、介助者はどんな介助をするべきなのかを検討しました、

前半部分での結論を踏まえ、人それぞれ違うが、まず、自分の思い込みで行動しないということが重要であり、(気を使って離れるなど) 1対1の場合と同じく、当事者がどのようにして欲しいのかを確認し、動くということは変わらない。ただ、第3者(家族・恋人・友人など)の生活にも介助者は関わっていて、影響があるのだということは理解しておかなければならないし、それも含めて当事者の生活なのだということを確認しました。

Ⅲ. 「もし自分が重度障害者になったら？」

今回、最後に「もし自分が重度障害者になったら？」というテーマで課題を出しました。中途障害当事者が受傷により生活がどのように変わり、またその時どう感じていたのかを聞いたインタビューをふまえ、自分が今障害者になったら自分の生活はどのように変わるのか？自分らしく生活する為に何が必要なのか？を考えて自分のサービス利用計画を立ててみる、という課題をヘルパーに出し、今回の研修は終わりました。



目次

- リアライズ新メンバー紹介 (P.2-3)
- リアライズヘルパー紹介 (P.4-5)
- 特集 第1回NPO法人リアライズ杯
障害者市民ボウリング大会 報告 (P.6-9)
- 「ポジティブ・キャンペーンにいらっしやい!!」
ポジティブ・キャンペーン参加報告 (P.10-13)
- ヘルパー研修会報告 (P.14-15)

編集後記

表紙に使った写真、3月末に行ったリアライズ卒業生を送る会で撮ったものです。さて、いったいどこで撮ったものなのでしょう?? 正解は、ぜひリアライズに来て確認してください! リアライズはますます大きくなっているんです! 今年度もさらに勢いよく突き進みますのでよろしくお願ひします!

ばい と一ます (大仏頭)

《発行人》

関西障害者定期刊行物協会

〒536-0023 大阪市城東区東中浜3-5-16 タイガーマンション1階

《編集人》

特定非営利活動法人 リアライズ

〒595-0071 大阪府泉大津市助松町1-3-33エクセラート北助松1階 店舗4

TEL : 0725-22-7716 / FAX : 0725-22-7746

URL : http://www012.upp.so-net.ne.jp/Realize/

定価 : 100円

1984年8月20日第三種郵便承認 毎日発行